

2006年5月10日

各位

三井・デュポンポリケミカル株式会社

高機能樹脂エンティラ*の新規事業化

当社（社長：鈴木憲二）は、三井化学株式会社と米国デュポン社（日本法人デュポン株式会社）の合弁会社で、エチレン系特殊ポリマーを日本国内中心に製造、販売をしております。この度、新たに高機能樹脂（製品名：エンティラ*）を新製品として事業化することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

<事業化計画の概要>

1. 製品：エチレン系高機能樹脂
2. 商標：エンティラ* / ENTIRA*
3. 製造設備：大竹工場内の既存プラント
4. 技術：自社及び米国デュポン社技術
5. 販売開始：2006年4月
6. 売上高：10億円以上（2009年度）

当社は、機能性材料の拡大・成長をめざす三井化学と、様々な分野で世界をリードするサイエンス・カンパニー 米国デュポン社との連携を強化し、更なる新製品開発及び新規市場開拓をめざしています。

これまで、エチレン酢酸ビニル共重合樹脂（製品名：エバフレックス®）、エチレン（メタ）クリル酸共重合樹脂（製品名：ニユクレル**）やアイオノマー樹脂（製品名：ハイミラン®）等の機能性樹脂を工業用途や包装材用途に展開していますが、この度高まるプラスチック材料の帯電防止等のニーズに対し、当社のポリマー技術を駆使し開発を進めてきた高機能樹脂エンティラ*を新規に市場に投入することになりました。日本は当社が販売を行い、海外は米国デュポン社が販売を担当し、今後当社と米国デュポン社は連携して全世界的な事業展開を行います。

今回新製品として事業化する高機能樹脂エンティラ*は、エチレン系樹脂で優れた帯電防止性、高周波シール性、及び透湿性を有しており、ポリオレフィン樹脂等の改質剤としての使用が可能です。

プラスチックの帯電防止剤としては、従来界面活性剤が主に使用されていますが、界面活性剤はブリードアウトによるべたつきや内容物の汚染、経時での帯電防止性の低下等の問題があります。それに対しエンティラ*は、これらの問題点のない画期的な樹脂で、

電子材料・食品及び顔料・フィラー等の包装フィルムや、化粧品容器・シャンプーボトル向けに大きな需要が見込まれます。また、高周波誘導加熱での優れたシール性より、日用品や文具での採用が期待され、高い透湿性より住宅用ルーフィング材をはじめ様々な新規用途への展開を目指しています。

当社は特殊ポリマーの製造販売・研究開発に邁進し、多様化する市場のニーズを的確に捉え、きめ細かく、かつ迅速に対応するよう努めております。これからも高品質の製品の提供を通じて、地球環境とのより一層の調和を図りつつ、皆様のより豊かで快適な暮らしの実現に貢献してまいります。

* 「エンティラ」は、現在、米国デュポン社により商標登録出願中です。

** 「ニユクレル」は、米国デュポン社の登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先

三井・デュポンポリケミカル株式会社 営業総括室 室長 石川 雅夫 03-6253-4007